

# ハギ類養殖における魚病対策の高度化 「ハギ類の魚病対策の手引き」の作成と普及

## 養殖魚のニューフェイス、ハギ類

- ハギ類（ウマツラハギ、カワハギ）はフグ目に属し、トラフグに似た歯ごたえの美味しい白身と濃厚な味の肝が人気の魚です。
- 美味であることに加え、価格が高く養殖期間が短いことから、新しい養殖対象魚として注目されており、三重県内では約10万尾養殖されています。

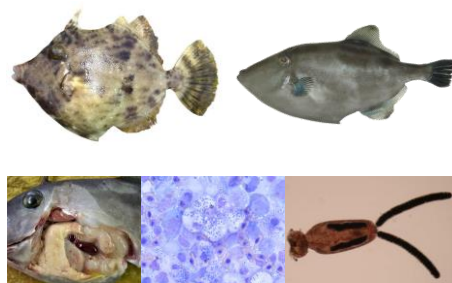


いけすで泳ぐカワハギ

## 健康なハギ類を育てるために

- ◆ハギ類養殖では、産卵で衰弱した夏季を中心に魚病が発生することがあります。しかし、養殖の歴史が浅いハギ類では、魚病対策に関する情報が十分に整理・共有されていませんでした。
- ◆そこで、養殖ハギ類を魚病から守り、健康で安心・安全なハギ類を安定供給するため、ハギ類の魚病対策に関する最新の知見をとりまとめた「ハギ類の魚病対策の手引き」を三重県海水養魚協議会とともに作成し、養殖業者の皆様配布しました。
- ◆本手引きには、ハギ類の27種類の魚病について、その発生状況、原因、症状、診断方法及び対策を記載しています。また、症状の目視観察により病気の種類を推定できる一覧表を添付しています。

### ハギ類の魚病対策の手引き



三重県水産研究所  
三重県海水養魚協議会

「ハギ類の魚病対策の手引き」表紙



三重県水産研究所 尾鷲水産研究室

Mie Prefecture Fisheries Research Institute Owase Branch

〒519-3602 尾鷲市天満浦字古里215-2 TEL (0597)22-1438 FAX(0597)22-1439

(2021年3月発行)